

## 工事説明書 サイクロン給気フード

品番	防火ダンパー無	FY-CUX06 (シルバー) FY-CUX06-K (ブラック) FY-CUX06-W (ホワイト)
	防火ダンパー付	FY-CUXA06 (シルバー) FY-CUXA06-K (ブラック) FY-CUXA06-W (ホワイト)

■防火ダンパー付パイプフードは火災の延焼防止に用いられるものです。

■防火ダンパー付パイプフードの使用については地域により規制が異なりますので所轄の消防署などにご相談ください。

■取り付け工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

## 安全上のご注意

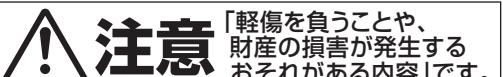
必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告** 「死亡や重傷を負うおそ  
れがある内容」です。



**注意** 「軽傷を負うことや、  
財産の損害が発生する  
おそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告



■仕様変更・改造は  
絶対にしない  
火災・感電・けがの  
原因となります。



■通路などの人が容易に触れる場所には  
取り付けない  
板金部品などの切り口や本体の突起、  
角などでけがをすることがあります。



■防火ダンパーを密閉ま  
たは半密閉の燃焼設備  
(給湯器、風呂釜など)  
の排気ダクトには使用  
しない  
ダンパーが閉じて排気ガス  
が逆流し、一酸化炭素中毒  
を起こすことがあります。



■部品は確実に取り付ける  
落下により、けがをするおそれがあります。  
■本体は十分強度のあるところにしっかりと  
取り付け、強度不足の場合には補強する  
落下により、けがをするおそれがあります。  
■施工の際は、皮手袋を着用する  
板金部品などの切り口や本体の突起、  
角などでけがをすることがあります。  
■本体は指定の方法で確実に取り付ける  
落下により、けがをするおそれがあります。  
■設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する  
けがをするおそれがあります。  
■使用を終了した製品は放置せず、撤去する  
万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

- 虫排出口付近には、物を置かないでください。
- 降雪・積雪が予想される地域では、サイクロン給気フードを積雪が覆うことがないように、軒下に設置する等十分な防雪対策を設けてください。
- 塩害エリアにて本製品(耐塩害仕様)を使用した場合でも発錆に対して万全ではありませんので定期的なメンテナンスをおこなってください。
- VP管への取り付けはできませんのでご注意ください。

お願い

ご防火ダンパー付  
機種を  
ご使用の場合は

- 取り付けについて

- 1.厨房(台所)、ボイラーリー室の換気扇の排気ダクトなどは排気温度が高くなり、  
温度ヒューズが溶断し、風路をしゃく断する可能性がありますので、設置をさせてください。
- 2.温度ヒューズの保守点検が容易な場所に限ってご使用ください。

- 保守点検について

- 1.温度ヒューズはメンテナンス部品です。  
破断、発錆、腐食している場合は、新品(有償)と交換してください。  
(塩害エリア、腐食性ガスの発生する場所等使用環境によって温度ヒューズの寿命が短くなることがあります)
- 2.温度ヒューズの交換は、銘板に表示する温度ヒューズを使用してください。
- 3.温度ヒューズの交換・フードの清掃は、フードをはずしておこなってください。

- 適用ダクトは、不燃性ダクトをご使用ください。

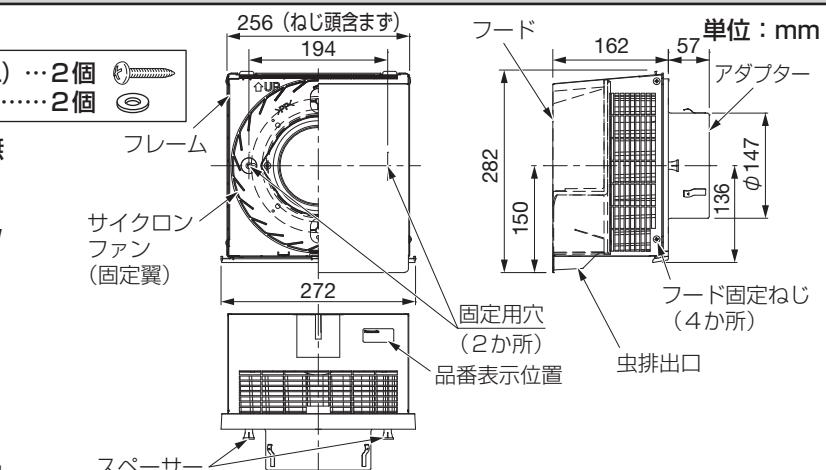
お願い この製品専用の付属品あるいは指定の  
もの以外は使用しないでください。

## 各部の名前と寸法

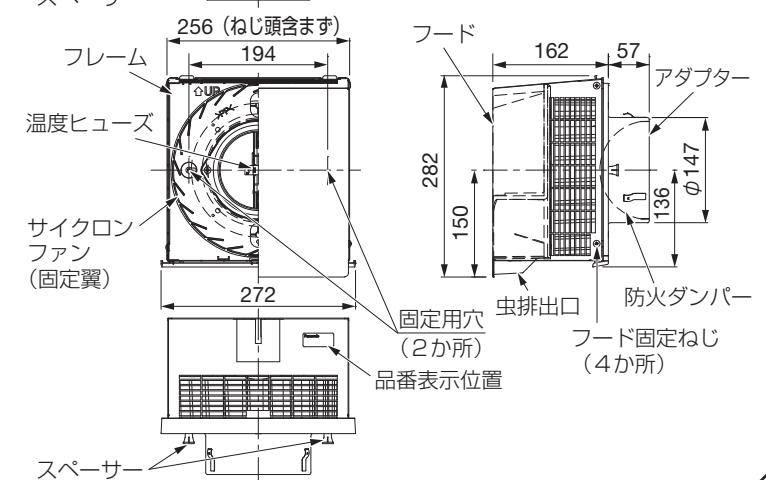
### ■付属品

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ねじ (M4×55L) …… 2個 |  |
| ワッシャー…………… 2個     |  |

■防火ダンパー無  
FY-CUX06  
FY-CUX06-K  
FY-CUX06-W



■防火ダンパー付  
FY-CUXA06  
FY-CUXA06-K  
FY-CUXA06-W



# 施工方法

以下の手順にしたがって施工してください

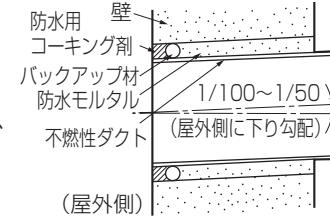
## ①ダクトの外壁端面処理を施す(雨水浸入防止処理)

壁にダクトを通し、仕上げをする

■屋外側に下り勾配(1/100~1/50)を設けてください。

■壁内部に雨水が入らないように、防水用コーキング剤を確実に施してください。

■ダクトは壁面から飛び出さない長さにしてください。壁面より飛び出して配管されますと、フードが壁面より浮くおそれがあります。

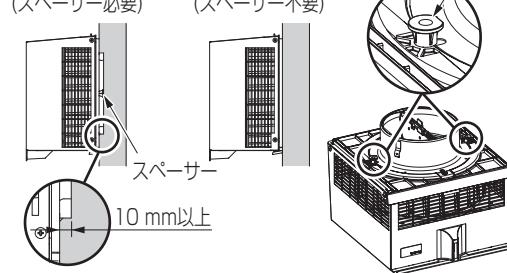


### お願い

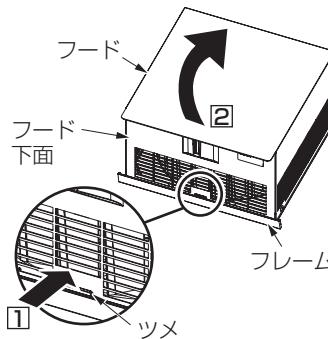
■取付面に段差(0~10 mm)がない場合、スペーサー(2個)をはずしてください。フードが壁面より浮くおそれがあります。

### 【段差10 mm以上】 〔スペーサー必要〕

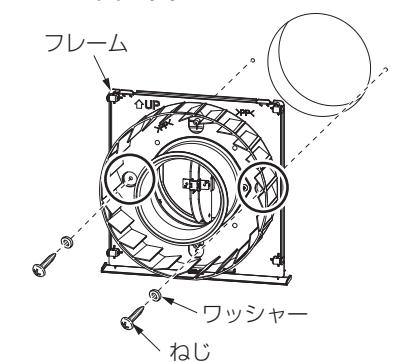
### 【段差0~10 mm未満】 〔スペーサー不要〕



## ③フードの下面(ツメ手前)を押しながら、手前に引いてツメをはずし、フレームからフードをはずす



## ④フレームを付属のねじとワッシャー(各2個)で壁面に固定する



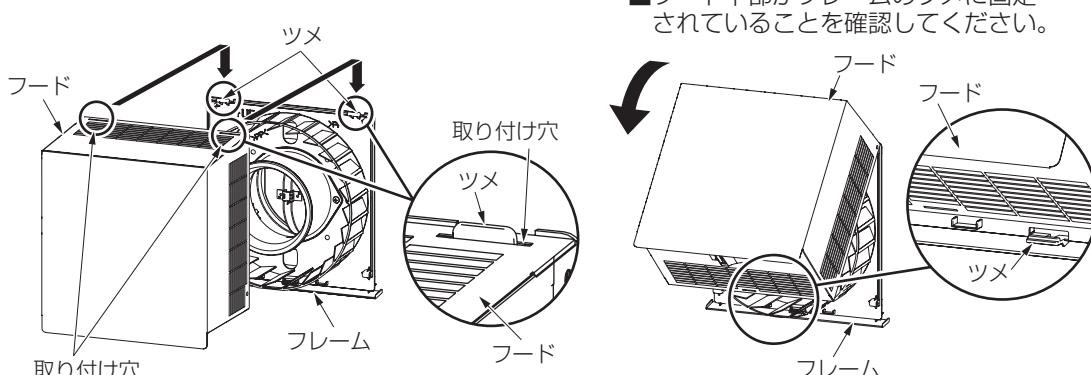
### お願い

■ねじの締め付けに注意してください。  
(壁面の凹凸などによっては、変形するおそれがあります)

■ねじの締め付けの際、軸長が150 mm以上のドライバーを使用してください。  
ドライバーがサイクロンファンに接触し、破損するおそれがあります。

■壁面の強度が不足する場合は、アンカーブラグ(市販品)を使用してください。

## ⑥フードの取り付け穴(2か所)をフレーム上部のツメに引っ掛け、フードを取り付ける



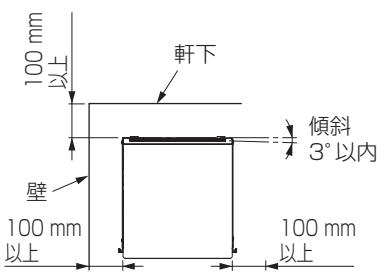
### お願い

■フード下部がフレームのツメに固定されていることを確認してください。

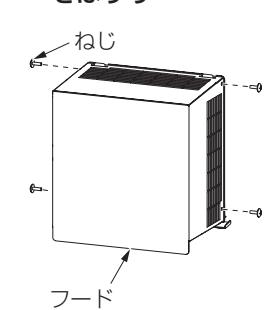
■フードの両側面は壁・軒下などから100 mm以上あけてください。

(フードの着脱ができません)

また、フードの傾斜は3°以内としてください。  
(虫が排出されないおそれがあります)



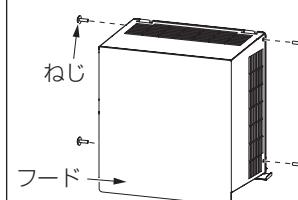
## ②フードを固定しているねじ(4個)をはずす



## 温度ヒューズの交換

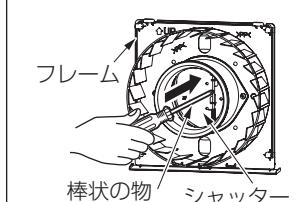
(FY-CUXA06  
FY-CUXA06-K  
FY-CUXA06-W)

## ①フードを固定しているねじ(4個)をはずす

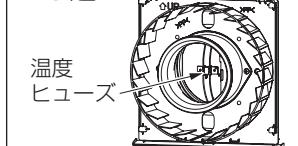


フード内部にある交換前のヒューズはフードから取り除いてください。

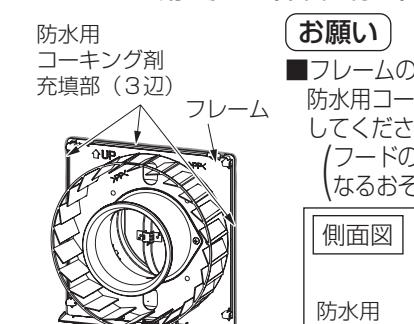
## ②閉じているシャッターの中央部を棒状の物で押しシャッターを開く



## ③開いて折りたたんだ状態にてシャッターに新しい温度ヒューズを差し込む

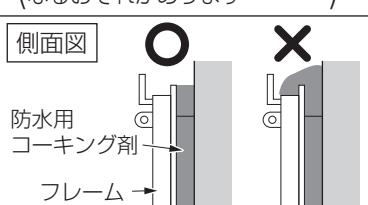


## ⑤コーキング充填部(フレームと壁面との間)に防水用コーキング剤を施す(下面は除く)

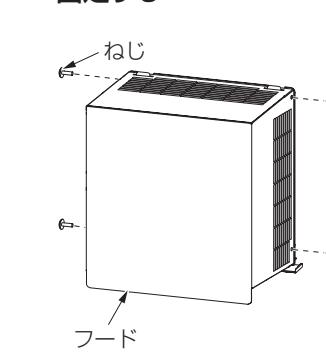


### お願い

■フレームの端面まではみ出さないように防水用コーキング剤をしっかりと充填してください。  
(フードの取りはずしができなくなるおそれがあります)



## ⑦フードをフレームに②ではずしたねじ(4個)で固定する



### お願い

■ねじの締め付けの際トルクの強いインパクトドライバー等は使用しないでください。  
フレームが破損するおそれがあります。

パナソニック株式会社  
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番  
TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2019-2023  
CUXA064500A-P0719-1033